

明浜路

平田球坊

25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
踊唄マイク離さぬ地元の子	盆踊り渡江の歌舞伎受け継がれ	可愛い子サマードレスの映える浜	轟々と蛇滝出づるや半夏雨	図書室がまちのオアシス夏休み	俵津の湾華やぐや揚花火	海の日の大早津には人数多	鬼ヶ城山の上湧く雲の峰	海の幸揃ふ浜辺の暑気払	アゲアゲのかっぱにちなむ祭りあり	明浜の暑中見舞に一句添ふ	ひとときのこどもにかへるなつまつり	若葉光神楽の鬼は子を抱え	明浜の風波涼し子守唄	明浜に到る潮香と花蜜柑	高山の湾見下ろして花吹雪	はいの声大きく言えた入学日	明浜の海のさざ波長閑なる	菜の花の黄と海映える明浜路	卒業す十七人の浜の子や	マリンブルー高山浦の春近し	豊後より春潮ざぶん大崎へ	明浜を西へ東へ木の芽晴	春光や河童の民話アニメなる	日脚伸ぶ野福峠の九十九折
50	49	48	47	46	45	44	43	42	41	40	39	38	37	36	35	34	33	32	31	30	29	28	27	26
厳かに参道歩く歳旦祭	初茜を背に子どもら初走り	雲の無き凜とした気と初日の出	注連縄を作る大人と手伝ふ子	餅搗きを集ふじじばば親に子も	午後五時八分日没冬至かな	ささやかにフェンス彩る冬の灯や	英文で作句するサンタクロース	冬暖か地域ぐるりとウォークラリー	明浜のかるた活気を偲ばせり	襷継ぐ陽を背に受ける淑気かな	蜜柑はぎ皮の長さを競い合い	宇和海の光りを浴びて日向ぼこ	荷台満つ「蜜柑御礼」明浜路	バス停の跡地ひっそり冬苺	新涼や国際色のある狩江	田之浜の肩腕を組み太鼓歌	牛鬼も神輿も杜へ秋の暮れ	若衆は海へ翔け飛ぶ秋の宵	よいとこな声と太鼓の秋祭り	秋深し熱気いっぱい文化祭	親も子も地域一体運動会	菓子の香も纏ひ仮装すハロウィーン	名月と金色の道宇和の海	若者の生演奏と月見会